



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月13日

上場会社名 株式会社シノプス 上場取引所 東
コード番号 4428 URL <https://www.sinops.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 南谷 洋志
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部担当 (氏名) 武谷 克裕 TEL 06 (6341) 1225
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の業績 (2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	1,223	26.2	151	87.9	150	89.1	97	81.9
2022年12月期第3四半期	969	26.3	80	206.0	79	99.7	53	122.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	15.81	15.75
2022年12月期第3四半期	8.74	8.66

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	2,024	1,657	81.9
2022年12月期	2,005	1,543	76.9

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 1,656百万円 2022年12月期 1,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	1,766	21.4	250	11.4	250	11.5	161	5.0	円 銭 26.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	6,249,000株	2022年12月期	6,221,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	35,229株	2022年12月期	47,274株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	6,191,657株	2022年12月期3Q	6,157,804株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

a. 経営環境

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、資源及びエネルギー価格の高騰等による物価高、世界的な金融の引き締め等を背景とした不安定な為替相場等、依然として不透明な状況が続いております。一方で、社会全体の改革を目的としたDX（デジタルトランスフォーメーション）推進が浸透しつつあり、小売業は益々多様化する消費者ニーズへの対応が求められており、業務効率化のためのIT投資は今後増加していくものと予想されます。さらに、物流業界での「2024年問題」や、持続可能な開発目標（SDGs）の採択に基づいた食品ロス削減運動も社会課題としての対応が急がれております。そのため、バリューチェーンの最適化・食品ロス削減に貢献できる当社の需要予測・自動発注サービスに対するニーズが高まっており、今後もさらなる市場拡大が見込めます。

その結果、当社の導入実績は、2023年9月30日時点でARR（注1）は1,195,771千円（前四半期比26,913千円増）、クラウドサービスの有償店舗数は2,637店舗（同85店舗増）（注2）、クラウドサービスの有償アカウント数は10,211アカウント（同197アカウント増）（注3）、シェア率は19.6%（前年同期比1.0pt増）、契約企業数は108社（同7社増）に増加しております。当第3四半期累計期間における売上高は1,223,949千円（同26.2%増）、営業利益は151,666千円（同87.9%増）、経常利益は150,825千円（同89.1%増）、四半期純利益は97,919千円（同81.9%増）となりました。

（注1）Annual Recurring Revenueの略語。2023年9月末時点のMRR（Monthly Recurring Revenue）を12倍にして算出。MRRは対象月の月末時点における有償契約ユーザー企業に係る月額料金の合計額（一時収益は含まない）。

（注2）有償契約でクラウドサービスを利用している店舗数（旧レンタルサービス利用店舗を除く）。

（注3）有償契約しているクラウドサービス利用数（旧レンタルサービスを除く）。

b. 経営成績の分析

（単位：千円）

	2022年12月期 第3四半期累計期間	2023年12月期 第3四半期累計期間	増減額	増減率
売上高	969,958	1,223,949	253,991	26.2%
売上原価	545,439	637,438	91,999	16.9%
売上総利益	424,519	586,511	161,991	38.2%
販売費及び一般管理費	343,794	434,844	91,050	26.5%
営業利益	80,724	151,666	70,941	87.9%
経常利益	79,770	150,825	71,054	89.1%
四半期純利益	53,834	97,919	44,084	81.9%

①売上高

クラウド売上高（過去の経営成績の分析におけるレンタル売上高を含めております。）は、既存ユーザーへのアップセル・クロスセルが主要因となり、598,937千円（前期比171,393千円増・40.1%増）となりました。パッケージ売上高は、大型食品スーパーの新規受注や既存ユーザーの店舗追加が主要因となり、184,249千円（前期比108,308千円増・142.6%増）となりました。導入支援売上高は、190,716千円（前期比38,916千円減・16.9%減）となりましたがクラウドサービスの導入は計画通り進捗しております。サポート売上高は既存ユーザーの店舗展開が進んだことが主要因となり、250,047千円（前期比13,206千円増・5.6%増）となりました。その結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,223,949千円（同253,991千円増・26.2%増）となりました。

②売上総利益

当第3四半期累計期間は、クラウドサービスの展開を加速させるための製造部門の人件費の増加、外注費の増加、クラウド利用店舗拡大に伴う通信費の増加が主要因となり、売上原価が前年同期比91,999千円増加（前年同期比16.9%増）となりました。その結果、売上総利益が586,511千円（同161,991千円増・38.2%増）となりました。

③営業利益・経常利益

当第3四半期累計期間は、クラウドサービス改善やDCMサービス（注4）構築に向けた研究開発費の増加や、事業拡大を目的とした人員増加に伴う人件費や採用費の増加が主要因となり、販売費及び一般管理費が前年同期比91,050千円増加（前年同期比26.5%増）となりました。その結果、営業利益が151,666千円（同70,941千円増・87.9%増）、経常利益は150,825千円（同71,054千円増・89.1%増）となりました。

④四半期純利益

当第3四半期累計期間における四半期純利益は97,919千円（前年同期比44,084千円増・81.9%増）となりました。

なお、当社は「sinops事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

（注4）DCMはデマンド・チェーン・マネジメントの略語。DCMサービスとは、需要側（消費者等）から得られる情報を基点として商品開発、生産・供給計画、流通、販売体制等を統合的に編成する情報管理システムのことです。具体的には、POSデータ等の情報をもとに需要予測を行い、生産管理や在庫管理を最適化することを目指すシステムです。

（2）財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期会計期間末における総資産は2,024,353千円（前事業年度末比18,663千円の増加）となりました。主な要因は、現金及び預金が538,286千円減少した一方で、長期預金が500,000千円、社債の新規購入により投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が99,110千円それぞれ増加したこと等によるものです。

②負債

負債は366,788千円（前事業年度末比95,342千円の減少）となりました。主な要因は、賞与引当金が42,741千円増加した一方で、その他流動負債に含まれる未払金が88,493千円、未払法人税等が55,557千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

③純資産

純資産は1,657,565千円（前事業年度末比114,006千円の増加）となりました。主な要因は、利益剰余金が95,843千円増加したこと等によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期通期の業績予想につきましては、2023年2月13日の「2022年12月期決算短信」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

また、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,300,281	761,994
売掛金	273,806	174,742
仕掛品	2,992	11,668
その他	36,196	62,426
流動資産合計	1,613,276	1,010,832
固定資産		
有形固定資産	32,320	28,058
無形固定資産		
ソフトウェア	219,352	213,574
その他	8,046	47,440
無形固定資産合計	227,399	261,014
投資その他の資産		
長期預金	—	500,000
その他	132,694	224,447
投資その他の資産合計	132,694	724,447
固定資産合計	392,414	1,013,520
資産合計	2,005,690	2,024,353
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,484	16,562
1年内返済予定の長期借入金	28,750	3,100
未払法人税等	70,105	14,548
賞与引当金	—	42,741
製品保証引当金	13,055	14,978
受注損失引当金	914	—
その他	330,721	270,560
流動負債合計	458,031	362,490
固定負債		
退職給付引当金	4,099	4,297
固定負債合計	4,099	4,297
負債合計	462,131	366,788
純資産の部		
株主資本		
資本金	425,537	428,174
資本剰余金	386,784	388,604
利益剰余金	788,292	884,135
自己株式	△58,725	△42,536
株主資本合計	1,541,888	1,658,377
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△1,384
評価・換算差額等合計	—	△1,384
新株予約権	1,670	571
純資産合計	1,543,559	1,657,565
負債純資産合計	2,005,690	2,024,353

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	969,958	1,223,949
売上原価	545,439	637,438
売上総利益	424,519	586,511
販売費及び一般管理費	343,794	434,844
営業利益	80,724	151,666
営業外収益		
受取利息	13	203
受取手数料	336	133
その他	316	99
営業外収益合計	666	435
営業外費用		
支払利息	450	27
売上債権売却損	—	351
譲渡制限付株式報酬償却損	597	855
その他	572	41
営業外費用合計	1,620	1,276
経常利益	79,770	150,825
特別利益		
新株予約権戻入益	—	164
特別利益合計	—	164
特別損失		
固定資産除却損	152	—
特別損失合計	152	—
税引前四半期純利益	79,618	150,989
法人税、住民税及び事業税	1,725	47,433
法人税等調整額	24,057	5,636
法人税等合計	25,783	53,070
四半期純利益	53,834	97,919

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。